

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	2 農林水産
----	--------

評価責任者	所属	経済局 農林水産部 農業政策課
	氏名	課長 杉本 守

政策	2 産業・産地を担う人材・組織の育成を推進します
----	--------------------------

施策	1 次代を担うビジネス感覚豊かで多様な担い手の育成・確保
----	------------------------------

施策の目的	農林水産業従事者の高齢化が進む中、次世代への継承を着実にを行うことにより、豊かな農林水産物の産地として本市農林水産業の持続的発展を図ります。このため、新規就農者や認定農業者等の担い手に対する支援や、経営感覚を身につけるためのスキルアップ講座、就農希望者に対する研修等を実施することにより、次代を担うビジネス感覚豊かな多様な担い手の確保・育成を推進します。
-------	---

## （1）総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	成果指標の達成率は「A」及び「B」となったが、主要事業に掲げた4事業のほか、経営改善に意欲的に取り組む地域の担い手に対して、経営改善計画作成の指導を実施や関係機関等と連携し、認定農業者等の新規掘り起こしを行い、認定農業者の確保に努めた。また、全国の担い手との交流及び経営改善に資する多面的な情報の収集活動など、担い手の経営能力の向上を目的とする支援活動を実施したことで、「担い手の確保・育成の推進」に努めることができたため、総合評価は「A」とする。
	令和2年度	—	理由	—
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。  
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## （2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
			1	600経営体	584経営体	97.4%	a	
2	600経営体	—	—	—				
3	600経営体	—	—	—				
4	600経営体	—	—	—				
成果指標	新規就農者数（法人含む）	19経営体（平成30年度）	1	23経営体	17経営体	85.0%	b	新規就農者の掘り起こしを行い、23経営体/年を維持することとする。
			2	23経営体	—	—	—	
			3	23経営体	—	—	—	
			4	23経営体	—	—	—	
指標成果以外の								

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
青年就農促進事業	①青年就農促進事業補助金（農業次世代人材投資事業（経営開始型））の交付 ②新規就農計画の作成、認定	1	1	34,500	0	20,830	0.4	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
農業経営講座	農業経営講座の開催（年2回）	3	1	310	0	223	0.3	0.1	0.1	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
認定農業者・新規就農者育成支援事業	認定農業者・認定新規就農者育成支援事業補助金の交付	2	1	23,000	0	22,248	0.8	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
アグリチャレンジパーク蒲原管理運営事業	①新規就農者育成研修の実施（H27～） ②農業体験ほ場、芝生広場等の管理運営 ③農業体験イベントの開催（H27～）	4	1	6,722	0	5,609	0.7	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。  
 ※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない）

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	新規就農者数は景気動向に大きく左右され、企業の採用意欲が比較的高い時期は新規就農者数が減少する傾向にある。また、認定農業者等は高齢化や後継者不足等により減少傾向にあるため、今後の本市農業が将来にわたり持続的に維持・発展していくためには、新規就農者及び認定農業者の育成・確保は必要不可欠である。	認定農業者や新規就農者がスキルアップのために、農業経営講座を通して他の経営者の経営を学び今後の経営の参考とするよう、講座の内容を検討していくほか、県やJA等の関係機関と連携し、就農希望者に対する研修の内容を充実させ、新たな担い手の育成・確保に努める。
令和2年度		
令和3年度		
令和4年度		

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	2 農林水産
政策	2 産業・産地を担う人材・組織の育成を推進します
施策	2 農林水産業を成長産業にする新しい経営体の育成支援
施策の目的	地域の担い手となる農林水産業者を育成するため、経営基盤の強化に対する支援を行うとともに、従事者の組織化や異業種からの新規参入を促し、農林水産業を成長産業としてとらえた新しい経営体の育成支援に取り組みます。

評価責任者	所属	経済局 農林水産部 農業政策課
	氏名	課長 杉本 守

## (1) 総合評価

総合評価	令和元年度	B：施策の目的があまり達成されていない。	理由	主要事業を実施したが、成果指標の目標値である20経営体に対し実績値が17経営体となり達成率が85%となったため、評価は「B」とする。
	令和2年度	—	理由	—
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。  
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## (2) 成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠	
	新規就農者数（法人を含む）	19経営体（平成30年度）		1	23経営体	17経営体	85.0%		b
2				23経営体	—	—	—		
3				23経営体	—	—	—		
4				23経営体	—	—	—		
				1					
				2					
				3					
				4					
				1					
				2					
				3					
				4					
指標成果以外の									

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
認定農業者・新規就農者育成支援事業	認定農業者・認定新規就農者育成支援事業補助金の交付	1	1	23,000	0	22,248	0.3	0.0	0.1	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
アグリチャレンジパーク蒲原管理運営事業	①新規就農者育成研修の実施 (H27～) ②農業体験イベントの開催 (H27～)	2	1	6,722	0	5,609	0.8	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
青年就農促進事業	①青年就農促進事業補助金（農業次世代人材投資事業（経営開始型））の交付 ②新規就農計画の作成、認定	3	1	34,500	0	20,830	0.4	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
農業経営講座	農業経営講座の開催（年2回）	4	1	310	0	223	0.3	0.1	0.1	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。  
 ※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画実施時期が到来していない）

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	認定農業者等の担い手が高齢化や後継者不足等により減少傾向にある中で、今後の本市農業が将来にわたり持続的に維持・発展していくため、新規就農者の育成・確保は必要不可欠である。	引き続き、認定農業者・新規就農者育成支援事業を実施するほか、新たに就農を希望する者に対してAOP蒲原で行う新規就農者育成研修が充実するよう内容を検討し、更なる経営体の育成・支援に取り組む。
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	2 農林水産	
政策	2 産業・産地を担う人材・組織の育成を推進します	
施策	3 経営規模の拡大を目指す農林業者の育成支援	
施策の目的	積極的に経営規模を拡大しようとする地域の中核的存在である担い手が、必要な農地を円滑に利活用できるよう、農地の貸借に関する支援や荒廃農地の解消等に関する取組みに対して支援し、意欲の高い従事者を後押ししていきます。	

評価責任者	所属	経済局 農林水産部 農地利用課
	氏名	課長 山本 正浩

(1) 総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	成果指標にある認定農業者（経営体）数については減少傾向にあるが、それに伴い当該農業者への集積面積も減少していることから、認定農業者1経営体あたりに対する農地集積面積は目標値を維持できている。
	令和2年度	—	理由	—
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。  
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（％）	評価	目標値の算出根拠
			1	153a	153a	100.0%	a	
2	153a	—	—	—				
3	153a	—	—	—				
4	153a	—	—	—				
指標成果以外の			1					
			2					
			3					
			4					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
農地中間管理事業	①農地中間管理機構に農地を貸し付けた地域及び個人に対して補助金を交付	1	1	3,000	0	0	0.5	0.5	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例 (◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	補助金交付については、本体事業である基盤整備事業の進捗状況に影響を受ける。 令和元年度は、補助金交付を見込んでいた基盤整備事業における地権者同意及び農地集積の同意に時間を要したため、交付を翌年度に見送ったことから交付実績はない。	当初見込んでいた補助金を活用した農地集積は翌年度に繰り越されたため、交付実績はないが、法改正により農地利用集積円滑化事業での農地貸借の新規契約・契約更新が廃止されたことから、農地中間管理事業への載せ替えが活発に行われた結果、農地集積面積は目標値を達成することができた。
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—